

# 第143回 東南アジアの植民地化①

## 1 ベトナム、カンボジア、ラオスの植民地化

- ベトナムでは（ ）が衰退し、南部では広南王国が半独立状態となった。  
→1771年、（ ）が起こり、西山政権が成立した。



阮福暎  
ベトナム最後の王朝となる阮朝の建国者。グエンと読む。

- ☆（ ）(1802~1945年)  
都…（ ） ※ベトナム中部  
◆（ ）(嘉隆帝)(在位 1802~1820年)

- 阮福暎は、フランス人宣教師（ ）やタイ・ラオスの援助により、西山政権を倒して阮朝を建国した。
- 1804年、清の冊封体制下に入り、清の制度を導入した。



宣教師ピニョー  
東南アジアにキリスト教を広めようとした。

- 1858年、フランス皇帝（ ）は、フランス人宣教師迫害を理由にスペインと共同でインドシナへ出兵した。  
→1862年、サイゴン条約で南部の（ ）地域の東部を獲得した。  
→中国人の（ ）が（ ）を率いて抵抗運動を行った。
- 1883年、（ ）でベトナム北部のトンキン地域・中部のアンナン地域を保護国とした。  
→（ ）がベトナムへの宗主権を主張して、（ ）となった。  
→1885年、清が敗北し、（ ）でフランスのベトナム支配を認めた。



ナポレオン3世

久しぶりの登場。19世紀半ばには、世界中でこの人絡みの戦争が起きている。それもこれも偉大なおじさんの名前のせいか…。



劉永福

貧相なじいさんに見えるが、相当気合の入った人である。太平天国の乱に参加後、義勇軍を率いてフランスに抵抗した。晩年は日本の中国進出にも抵抗。



ファン=ボイ=チャウ

ベトナム民族運動の指導者。漢字では潘佩珠と書く。ベトナム光復会では、1911年の辛亥革命の影響から共和政の樹立を目指した。

- 1863年にすでに保護国としていた（ ）と合わせて、1887年、（ ）を成立させた。 ※総督府はハノイ。  
→1899年、（ ）をこれに加えた。
- ベトナムでは、（ ）の（ ）や、ファン=チュー=チンのドンキン義塾が結成されるなど、フランスに対する民族運動が行われた。  
→1905年、日露戦争に勝利した日本へ留学する（ ）が盛んとなった。  
→しかし1907年、日本は日仏協約を結び、ベトナムからの留学生を追放した。  
→ファン=ボイ=チャウは、1912年に広州でベトナム光復会を結成し抵抗を続けた。

## 2 インドネシアの植民地化

・インドネシアの島々には、ポルトガル・( )・イギリスが進出した。  
→1623年、オランダは、( )でイギリス勢力を追い出した。

- ・18世紀、オランダ東インド会社は、バンテン王国とマタラム王国を滅ぼして( )の大部分を支配するようになった。  
→1799年、オランダ東インド会社が解散し、オランダ政庁が設置された。  
→1825年に始まる( )で現地人の抵抗を鎮圧していった。
- ・1824年、イギリス=オランダ協定で、東南アジアの勢力圏を認め合った。
- ・1830年以降、本国経済の停滞やジャワ戦争で財政難となったため、総督のファン=デン=ボスが( )を導入した。  
→( )・サトウキビ・藍・茶などを強制的に栽培させた。  
→オランダは莫大な利益を手にしたが、ジャワ島では飢饉となった。
- ・20世紀に入ると、オランダは「倫理政策」という教育・福祉政策を行った。  
→民族意識が高まり、初期の民族運動団体ブディ=ウトモや、自治を要求する政治団体( )などが、オランダに対する民族運動を行った。



オランダ東インド会社のロゴ



ファン=デン=ボス

オランダ領東インド総督として、強制裁培制度を導入した。イギリスのインド支配もそうだが、植民地支配とは過酷なものである。けっこうイケメン。



カルティニ

インドネシアの女性運動家の先駆者。女性の地位向上に取り組んだ。25歳で死去。



現在のジャカルタ

バタヴィアは、現在インドネシアの首都ジャカルタである。オランダ統治時代が長かったため、建物はどこかオランダっぽい。

<インドネシアの簡単な王朝交代表>